

オーストラリアに行って



松尾 隆輝

僕は夏休み一週間グローバル人材育成事業に参加できました。オーストラリアでたくさんのお話を学んできました。楽しかったことや困ったこと、驚いたことなどたくさん思い出ができていい経験になりました。

楽しかったことは、まずオーストラリアに行ってホームステイの人の家に泊らせてもらったことです。ホームステイの家族は、お母さん、お父さん、むすめさんとむすこさんでした。みんな優しい家族でした。とてもよかったです。夜ごはんには、スパゲッティやパンなどができました。おもにパンでしたが一日だけ白米ができました。とてもおいしかったです。川にもつれてもらいました。めちゃめちゃきれいでした。家でバーベキューもしてパンにウインナーをはさんで食べました。何か

むらさきの野菜が出てきたんですが、ふだん野菜をあまり食べないけどとてもおいしかったです。市場みたいなのところにもつれていって来て、楽しかったです。

学校にもいって来ました。オーストラリアの学校は、食事の時間がいっぱいありました。ホームステイ先のお母さんがお弁当も作ってくれました。おいしかったです。

グリーン島という島にも行って来ました。サンゴの島と言われてました。海がとてもきれいでした。とても人間に慣れている鳥がいっぱいいました。

言葉を超えて繋がる心

森 樹音



私はグローバル人材育成事業に参加して得たものが二つあります。

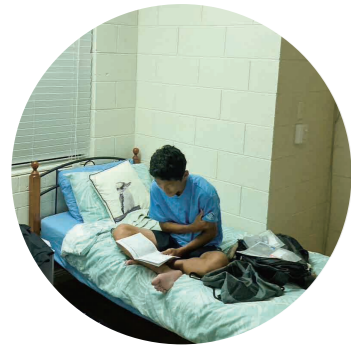
一つ目は、自分からコミュニケーションをとろうとする力です。ケアンズの小学校を二日間訪問しました。一日目の休み時間の時にたくさんのお話をしてもらったり、話かけてくれたりしたのがうれしくて、二日目の休み時間の時にもっと話したいと思い、積極的にコミュニケーションをとることができました。最初は緊張していてもうなずくことしかできませんでしたが、自信を持って話すことの楽しさを知りました。

二つ目は、資源の大切さについてです。オーストラリアは降水量が少なく、貴重な雨水をタンクにためて生活で使っていると知っていたので、節水をしようと心がけていたんですが、ホームステイをした時にシャワーを使っているのは10分以内と言われていたり、水を出しすぎと言われていたりしました。日本人の私にとっては節水していたつもりでも、オーストラリア人にとっては私が想像していた以上に水が貴重だということが分かりました。私があたり前だと思っていた事があたり前ではなくなるのだと思いました。

今の時代はインターネットで調べて、情報を簡単に手に得ることができますが、コミュニケーションをとり、伝え合い、受け入れ合う事をするより深くおたがいの事を知ることができるのだと思いました。

グローバル人材育成事業に参加して

山本 竜万



ぼくがオーストラリアに行って楽しかったことは、グリーン島を観光できたことです。グリーン島では、海に入ったり、昼食を食べたりしました。その他にボートで海の中を見ることができました。

日本とオーストラリアで違ったところは、まず、学校でぼくが一番いいなと思ったのは、給食が二回あることです。これは、由岐中学校でももらいたいです。ケアンズの町では、徳島と違うところは、あまりなかったです。ケアンズの町を見てみて、ぼくがおどろいたことは、日本人がたくさんいたことです。ケアンズに住んでいる人も日本語を少し分かっていました。ケアンズの学校では、友達もつることができて楽しかったです。すぐく話しかけやすい人がたくさんいました。

ホームステイ先では、サッカーの試合を見せに行ってくれたり、セントラルにつれていってくれたりしました。ホームステイ先の人と会話もできるようになりました。

来年も行かせてもらえるなら、行きたいなと思いました。

グローバル人材育成事業に参加して

舩田 結衣



私は、グローバル人材育成事業に参加でき八月十日から八月十八日までの九日間オーストラリアでたくさんのお話を学んできました。楽しかったことや驚いたこと、困ったことなどたくさん思い出ができてとてもよかったです。

私が、オーストラリアに行って楽しかったことは、ホストファミリーの人とオーストラリアのカードゲームをしたことです。ゲームのルールが少し難しかったけど、わかりやすい英語で教えてくれてルールがわかるとおもしろいゲームでとても楽しかったです。驚いたことは、料理の量が多いことです。一回の食事にたくさんのお料理を出してくれて、日本の一回の食事の量の倍ぐらいあって驚きました。困ったことは、学校に行ったときに言葉を上手く聞き取れなかったことと、言葉が上手く伝わらなかったこと

です。学校では、ずっとバディーの生徒がわかりやすい英語で伝えようとしてくれていたけどなかなか会話が成り立たなくてとても困りました。

私は、この経験を通してオーストラリアの文化や生活習慣などたくさん知ることができてとてもよかったです。実際に、オーストラリアに行って生活していると自分の英語の勉強不足も感じてこれからの勉強のモチベーションが上がりました。

これからは、オーストラリアのよさをたくさんの人に知ってもらい、この経験を通して学んだことをいかせるように生活をしていきたいです。

Information お知らせ

i 多重債務でお悩みの方に

四国財務局多重債務者相談窓口 ☎ 087-811-7801

四国財務局には、借金を抱え悩んでおられる方々のための「相談窓口」がございます。一人で悩まず、ご相談下さい。必要に応じて、弁護士・司法書士などの法律専門家への引継ぎも行っております。

※相談は無料です。こちらから電話をかけ直しいたします。

- 住所 : 高松市サンポート3番33号
高松サンポート合同庁舎(南館)
- 受付時間: 月曜日～金曜日(祝日及び12/29～1/3を除く)
9時～12時/13時～17時

i 薬の安全で適正な使用について～国民健康保健からのお知らせ～

役場税務課 ☎ 0884-77-3615

▶セルフメディケーションを心がけましょう

セルフメディケーションとは、「自分自身の健康に責任をもち、軽度な心身の不調は自分で手当てすること」(WHO定義)をいいます。

バランスのとれた食事や運動、健診を受けるなど、健康を意識した生活をするのが生活習慣病の予防・改善となり、医療費の適正化にもつながります。風邪や軽いケガなどの軽度な身体の不調時は市販薬を上手に活用することも含まれます。

▶ポリファーマシーをご存知ですか？

多くの薬を服用しているために、副作用を起こしたり、きちんと薬が服用できなくなっている状況をいいます。お薬手帳を1冊にまとめて管理し、薬の効能の重複がないか、飲み合わせが悪い薬がないかをかかりつけ医・かかりつけ薬剤師に確認してもらいましょう。

▶リフィル処方せんの利用について

症状が安定している患者さんに対して、医師の判断に基づき発行される最大3回まで繰り返し使用できる処方せんです。医療機関を受診する回数が少なくなり、医療費の節約にもつながります。希望される場合は、かかりつけ医にご相談ください。

